

気候情報

2010年10月の日本の天候

- 月平均気温は全国で高かった
- 中旬の終わりには奄美地方で記録的な大雨となった
- 北・東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美では月間日照時間がかかなり少なかった

10月の天気概況

上旬と中旬は、北・東・西日本では天気は数日の周期で変わったが、沖縄・奄美では低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多かった。特に中旬後半には奄美地方で、前線と台風第13号からの非常に湿った気流の影響で記録的な大雨となり甚大な災害が発生した。下旬は、前半は東日本以西では前線の影響により曇りや雨の日が多かった一方、北日本では晴れの日が多かった。しかし下旬の後半には一時的に冬型の気圧配置となり全国的に気温が平年を下回り北日本では平地でも降雪を観測したところがあった。また月末には台風第14号が、沖縄・奄美と、近畿地方から東北太平洋側にかけて接近し、東日本太平洋側を中心に大雨となった。

前線や台風などの影響により月を通じて曇りや雨の日が多かった沖縄・奄美では、月降水量がかかなり多く、月間日照時間はかなり少なかった。また、北・東日本太平洋側と西日本でも低気圧や前線などの影響を受けやすかったため月間日照時間がかかなり少なかった。特に、西日本日本海側の月間日照時間は10月としては1946年の統計開始以来少ない方から1位タイの記録となった。

気温は、下旬は強い寒気の影響で平年を下回った時期があったものの、そのほかは寒気の影響はほとんどなく、上旬から中旬にかけては季節外れの暖かい空気に覆われて北・東日本を中心に気温が平年を大幅に上回った時期があるなど、全国的に平年を上回る日が多かった。このため月平均気温は、全国的に高く、東・西日本ではかなり高かった。

上旬：天気は周期的に変わった。3日から4日にかけてと、9日から10日にかけては低気圧が日本付近を通過し全国的に雨となり大雨となった所もあった。そのほかの日は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、5日から6日にかけては上空の寒気の影響で北・東日本を中心に、にわか雨があったほか、8日は高気圧の後ろ側にあたり、西日本と沖縄・奄美では雨となった。

中旬：前半は前線や低気圧の影響により全国的に曇りや雨の日が多かったが、気温は平年を大幅に上回った。後半は、東・西日本では移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、北日本では低気圧の影響を受けやすく曇りや雨の日が多かった。沖縄・奄美では曇りや雨の日が多く、20日には台風第13号を回る非常に湿った気流と前線の影響により、奄美地方では記録的な大雨となり甚大な災害が発生した。

下旬：旬の初めは東・西日本と沖縄・奄美では本州南岸の前線の影響を受け、曇りや雨となった。一方、北日本では高気圧に覆われて晴れた。24日から25日にかけては日本付近を低気圧が通り全国的に雨となり気温も全国的に平年を上回ったが、その後26日から27日にかけては冬型の気圧配置となった。強い寒気が流れ込んだため全国的に気温が平年を大幅に下回り、北日本では平地でも雪の降った所があった。旬の終わりには台風第14号が、沖縄・奄美と、近畿地方から東北太平洋側にかけて接近し、東日本太平洋側を中心に大雨となった。

10月の気候統計

月平均気温：東日本と西日本でかなり高く、北日本と沖縄・奄美で高かった。

月降水量：沖縄・奄美でかなり多く、東日本から西日本にかけての太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側では少なく、北日本太平洋側、東日本日本海側および西日本日本海側では平年並だった。

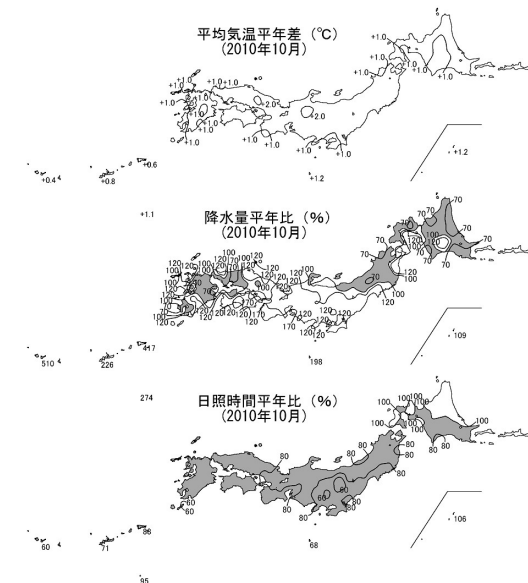
月間日照時間：北日本から東日本にかけての太平洋側、西日本および沖縄・奄美でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。北日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

10月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
名瀬 994.5 石垣島 933.5
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
山口 125.2 平戸 121.2 人吉 105.4
与那国島 66.6 石垣島 94.1

2010年10月の平年差 (比) 図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。